

**環境保全型農業直接支払交付金  
高知県 中間年評価報告書**

## I 都道府県における環境保全型農業推進の方針等

本県では、高知県産業振興計画（令和4年4月改定）において、環境保全型農業の推進に向けてIPM技術の普及拡大、GAPの推進、有機農業の推進などに対して目標値を掲げ取り組んでいる。令和3年4月には高知県有機農業推進基本計画を改定し、有機農業の取組面積を2030年（令和12年）には408haとすることを目標としている。

また、高知県脱炭素社会推進アクションプラン（令和4年3月策定）では、農業分野における地球温暖化対策として、有機農業を推進することによる農地土壌に関連する温室効果ガス排出の削減や、施設園芸において効率的な加温方法の普及等によるA重油使用量を削減することとしている。

## II 取組の実施状況

### 1 支援対象取組の実績

項 目		(参考) R1実績	R2実績	R3実績	
実施市町村数		18	14	14	
実施件数		30	29	30	
交付額計（千円）		12,612.2	16,724.6	18,409.2	
実施面積計（ha）		183.6	185.8	210.0	
取 組 別 実 績	有機農業	実施件数	22	22	23
		実施面積（ha）	101.9	106.0	109.8
		交付額（千円）	8,159.2	12,727.8	13,234.6
	堆肥の施用	実施件数	1	2	1
		実施面積（ha）	9.1	10.9	14.4
		交付額（千円）	403.4	481.3	636.2
	カバークロープ	実施件数	4	4	5
		実施面積（ha）	16.8	15.4	33.5
		交付額（千円）	1,344.0	924.6	2,013.6
	リビングマルチ	実施件数	0	0	0
		実施面積（ha）	0	0	0
		交付額（千円）	0	0	0
	草生栽培	実施件数	0	0	0
		実施面積（ha）	0	0	0
		交付額（千円）	0	0	0
	不耕起播種	実施件数	0	0	0
		実施面積（ha）	0	0	0
		交付額（千円）	0	0	0
	長期中干し	実施件数	0	0	0
		実施面積（ha）	0	0	0
		交付額（千円）	0	0	0

秋耕	実施件数	0	0	0
	実施面積 (ha)	0	0	0
	交付額 (千円)	0	0	0
土着天敵の温存利用技術	実施件数	1	0	0
	実施面積 (ha)	0.5	0	0
	交付額 (千円)	44.8	0	0
冬期湛水管理	実施件数	4	5	3
	実施面積 (ha)	54.9	53.3	52.2
	交付額 (千円)	2,660.8	2,590.9	2,524.8
インセクタリープランツの植栽	実施件数	0	0	0
	実施面積 (ha)	0	0	0
	交付額 (千円)	0	0	0

## 2 推進活動の実施件数

推進活動		(参考) R1実績	R2実績	R3実績
自然環境の保全に資する農業の生産方式を導入した農業生産活動の技術向上に関する活動				
	技術マニュアルや普及啓発資料などの作成・配布	2	2	2
	実証圃の設置等による自然環境の保全に資する農業の生産方式の実証・調査	1	1	2
	先駆的農業者等による技術指導	6	5	5
	自然環境の保全に資する農業の生産方式に係る共通技術の導入や共同防除等の実施	2	1	1
	ICT やロボット技術等を活用した環境負荷低減の取組	0	0	1
自然環境の保全に資する農業の生産方式を導入した農業生産活動の理解増進や普及に関する活動				
	地域住民との交流会（田植えや収穫等の農作業体験等）の開催	3	1	2
	土壌診断や生き物調査等環境保全効果の測定	0	7	7
その他自然環境の保全に資する農業生産活動の実施を推進する活動				
	耕作放棄地を復旧し、当該農地において自然環境の保全に資する農業生産活動の実施	1	0	2
	中山間地及び指定棚田地域における自然環境の保全に資する農業生産活動の実施	10	16	18
	農業生産活動に伴う環境負荷低減の取組や地域資源の循環利用	0	1	1
	その他自然環境の保全に資する農業生産活動の実施を推進する活動の実施	0	1	1

## 3 都道府県が設定した要件等

(1) 実施要領第4の1の(1)のイにより都道府県が設定した堆肥の施用量及び交付単価

堆肥の種類	対象作物	10アール当たりの施用量	10アール当たりの交付単価 (国と地方の合計)

(2) 実施要領第4の1の(9)により都道府県知事が特に必要と認めた取組

土着天敵の 温存利用技 術	取組の概要	ほ場内に定着した土着の天敵類を、栽培終了後に育苗ハウスや遊休ハウスに移して温存し、次作の栽培初期から安定的に利用できるようにする取組
	対象地域	県全域
	対象作物	野菜類
	10 アール当たりの交付 単価 (国と地方の合計)	8,000 円
冬期湛水管 理	取組の概要	冬期の水田に水を張ることで鳥類その他の生物の生息場所を確保し、生物多様性を確保する取組
	対象地域	県全域
	対象作物	水稻
	10 アール当たりの交付 単価 (国と地方の合計)	8,000 円 (有機質肥料施用・畦補強実施) 7,000 円 (有機質肥料施用・畦補強未実施) 5,000 円 (有機質肥料未施用・畦補強実施) 4,000 円 (有機質肥料未施用・畦補強未実施)
インセク タリープラ ンツの植栽	取組の概要	土着天敵を安定的に供給する手段として、作物の周辺にインセクタリープランツ(天敵温存植物)を栽培する取組
	対象地域	県全域
	対象作物	オクラ
	10 アール当たりの交付 単価 (国と地方の合計)	4,000 円

(3) 実施要領第4の2の(4)により設定された化学肥料及び化学合成農薬の低減割合の特例

作物名	対象地域	設定された特例の内容

(4) 実施要領第4の3により設定された、地方公共団体が定める地域独自の要件

地方公共団体	独自要件の内容

### Ⅲ 環境保全効果等の効果

#### 1 地球温暖化防止効果

全国共通取組の有機農業・堆肥の施用・カバークロープ・リビングマルチ・草生栽培・不耕起播種・長期中干し・秋耕は、国が実施した環境保全型農業直接支払交付金第1期最終評価(令和元年8月)において「地球温暖化防止効果が高い」と評価されている。

これらのうち本県では、有機農業・堆肥の施用・カバークロープの取組が実施されており、その面積は令和元年の127.8haから令和3年には157.7haと29.9ha増加しており、地球温暖化防止効果に資する取組面積が拡大している。

## 2 生物多様性保全効果

全国共通取組の有機農業、冬期湛水管理、総合的病害虫・雑草管理（IPM）の取組は、国が実施した環境保全型農業直接支払交付金第1期最終評価（令和元年8月）において「生物多様性保全効果が高い」と評価されている。

本県において上記取組は、生物多様性保全効果に資する取組として令和元年の157.3haから令和3年には162.0haと4.7ha増加しており、生物多様性保全効果に資する取組が拡大している。

## 3 その他の効果

特になし

# IV 事業の評価及び今後の方針

## 1. 事業の評価

県内の取組面積は令和元年の183.6haが令和3年には210.0haにまで増加しており、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動が県内で着実に推進されている。第2期における取組面積の増加の主な要因は、令和元年対比でカバークロープの取組面積（200%）、堆肥の施用面積（158%）と取組が拡大したことによるものである。

## 2. 今後の方針

高知県産業振興計画や高知県有機農業推進基本計画の目標を達成するために、環境保全型農業直接支払交付金事業は必要不可欠であることから、今後も継続して取組の拡大を推進する。推進にあたっては、本県の気候や栽培条件に適した環境保全型農業の取組を拡大すること、また農業の抱える農業者の高齢化や減少といった課題に対応するため、市町村等からのご意見を踏まえて地域特認取組の追加を検討する。